

今日のトピック メキシコ中銀が4会合連続で0.5%の利上げ 大幅な物価上昇継続で強まる中銀のタカ派姿勢

ポイント1 政策金利は7.0%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は5月12日に金融政策決定会合を開き、政策金利を6.5%から7.0%に引き上げました。
- 中銀による利上げは今回で8会合連続、0.5%の利上げは4会合連続となります。21年ぶりの高水準のインフレや、米国など主要中銀による利上げの動きに対応した格好です。

ポイント2 タカ派姿勢を鮮明にする中銀

- 今回の会合後に発表された声明では、インフレ見通しの引き上げとともに、今後複数回にわたる利上げの実施が示唆されました。また、一部の委員が0.75%の利上げを主張するなど、想定外の高インフレに対してより積極的に対処しようとする、中銀のタカ派姿勢が鮮明となりました。
- 弊社では今回の政策決定と声明文の内容を受け、2022年末の政策金利予想を、従来の8.0%から8.5%に引き上げました。

今後の展開 利上げ継続でペソは堅調

- 5月4日の米連邦準備制度理事会（FRB）による大幅利上げと量的引き締め開始の決定を受けて、一部の新興国通貨については価格の変動性が高まるものも散見されました。しかし、メキシコペソについては、堅調な経済ファンダメンタルズや中銀による積極的な利上げ姿勢もあって、総じて堅調に推移しています。
- 一部の経済指標についてはサプライチェーンの混乱などによる影響が見られますが、順調に拡大する米国経済や良好な雇用環境などを背景に、メキシコ経済は堅調な推移が続くものと思われる。このため、通貨ペソは今後も1米ドル＝20ペソを中心とした、レンジ内での底堅い推移が続くものと予想しています。

ここもチェック! 2022年3月25日 メキシコ中銀が0.5%の利上げを決定
2022年2月14日 メキシコ中銀が前回会合に続き0.5%の利上げ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

